

看護業務を支援する情報システム パート30 『看護情報の進むべき道筋へのヒント』

日時

2017年 **2月4日(土)**

30回大会記念品をご用意しております

10:00 ~ 16:45 (受付開始 9:30 ~)

場所

富士通関西システムラボラトリ (JR、京阪 京橋駅より徒歩6分)

〒540-8514 大阪府中央区城見2-2-6

✓ 参加費 : 4,000円 (資料集代含む)

✓ 定員 : 300名 (先着順)

当研究会は『医療情報技師更新』
対象の研究会です。

1 ポイント(予定)

I. 特別講演1. <10:10~11:50>

臨床看護の過去、現在、未来と保健医療政策
~看護情報の進むべき道筋へのヒント~

参議院議員 看護師・保健師 石田 まさひろ先生



1967年奈良県大和郡山市生まれ。1990年東京大学医学部保健学科卒業。
看護師として聖路加国際病院(内科)東京武蔵野病院(精神科)に勤務。
その後、日本看護協会政策企画室長として看護関連政策の立案・調整に従事。2005年から日本看護連盟幹事長に
就任し全国組織の運営と各級選挙のかじ取りをする。
2013年比例区(全国)にて参議院議員初当選。
自民党厚生労働部会副会長、自民党看護問題小委員会副委員長、議院運営委員会理事、財政金融委員会理事など就任。

II. トピックス <12:50~14:20>

- 看護実践用語標準マスターと標準化の取り組み
- 退院支援システム紹介
- 患者入力型タブレット端末によるベッドサイドシステムの看護業務効率化と展望

III. 電子カルテデータの二次利用 <14:40~16:40>

III-1. 特別講演2

データ二次利用の極意 鹿児島大学大学院歯学総合研究科 宇都 由美子様

III-2. 一粒で二度美味しい『データの二次利用』

- 医療・看護データの活用(DinQL活用の現状)
- BIツール活用事例
- QI(Quality Indicator)への取組みとDinQL対応
- 徹底討論

※プログラムは都合により変更となる場合があります。なお、正式なご案内は12月中頃を予定しています。

【主催】 医療情報システム研究会

<http://www.iry-jyoho.jp/>

プログラム委員長 美代賢吾 (国立国際医療研究センター 医療情報管理部門長)

(E-Mail) contact-hug@cs.fujitsu.com

【問い合わせ】 06-6920-5629

(事務局) 富士通株式会社 高木、國定(くにさだ)